中野区公園再整備計画

時代やニーズの変化に対応し、あらゆる世代のだれもが利用しやすい魅力的な公園環境づくりを推進するため、中野区の地域特性を踏まえた公園の機能・役割・利活用等について、とりまとめたものです。

中野区公園再整備計画の
詳細はこちらから↑

公園の現状

※再整備計画の段階から中規模公園が１公園増えて、現在は 170 公園となっております。

① 公園面積

公園・緑道の規模		公園数（R3. 4）	割合（%）
大規模公園	5,000m² 以上	13	7.7
中規模公園	**2,000m²～5,000m²**	**24**	**14.2**
小規模公園	2,000m² 未満	132	78.1

② 施設の老朽化

開園年月	公園数	割合（%）
1930年～1980 年代	**127**	**75.2**
1990 年代	20	11.8
2000年以降	22	13.0

③ 利用ルール

169 公園ほぼ全てに禁止行為に対する看板を設置しています。多様化する苦情に対し、公園の実情に応じた適切な周知・啓発を行っています。

意識調査・ヒアリング調査を踏まえた重点課題

中野区民 2,000 人を対象にした公園に関する意識調査と、5 企業を対象に民間活力導入の可能性を模索するためのヒアリング調査を行い、重点課題をまとめました。

○空間やニーズに応じた安心して利用できる**遊具の適切な配置・更新**

○トイレの清掃強化のほか、洋式化や親子連れへの配慮等、**トイレの利便性の向上**

○自然を身近に感じられる**みどりの保全と創出**

○**利用ルール**に対して、不満と現状維持の意見が同程度あることを踏まえた**柔軟な対応**

○利用頻度の高い子育て世代をはじめとする公園利用者が、快適に公園を利用できるような、**多世代に応じた環境の整備**や、**地域等と連携した運営**

○維持管理費用の低減や平準化を図るための仕組みづくりの検討

○公園を安心して利用できるような、**防犯対策等の環境づくり**

重点課題を解決し、「快適で魅力ある公園」にするための基本的な考え方

基本的な考え方 1
施設の配置・改修

基本的な考え方 2
利用ルールの見直し

基本的な考え方 3
公園運営の視点

基本的な考え方 4
維持管理コストの削減

基本的な考え方 5
安全・安心の確保

子どもから大人まで楽しめる“魅力ある公園づくり”を目指す

丸山公園再整備プラン

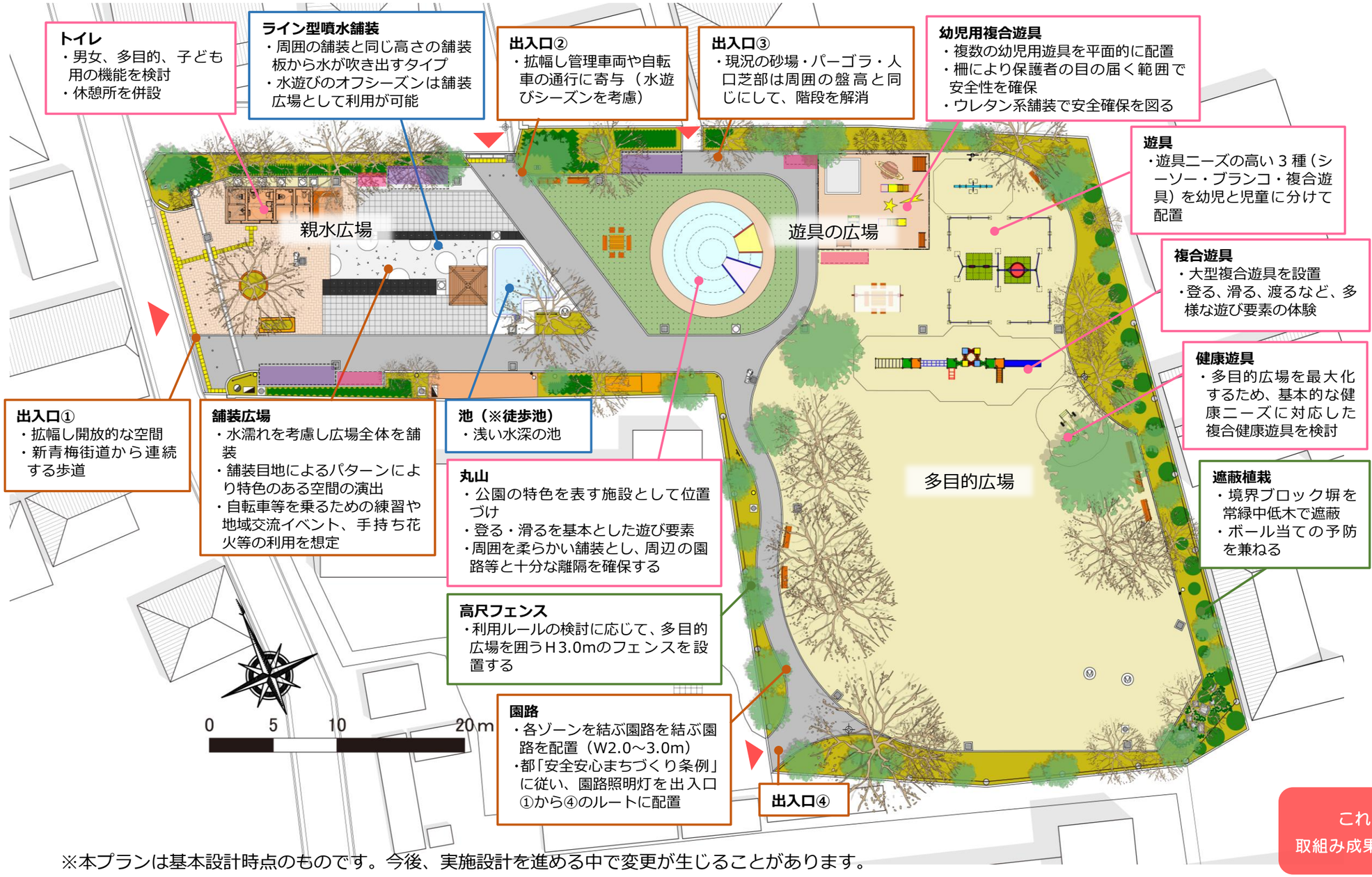
令和７年度の基本設計にて、アンケートやワークショップ等を行い地域住民のみなさまの意見を頂戴いたしました。これらの意見を踏まえ、計３回開催されたワークショップにおいて、参加者のみなさまと共に検討を重ね、丸山公園再整備プランを下記のように決定いたしました。

ワークショップで決定した再整備プラン

：駐輪スペース
園内に計 21 台駐輪可能

：ベビーカースペース
園内に 20 台分のスペースあり

【公園の将来像・テーマ】
世代を紡ぐ地域の代表公園
《誰もが安心・特色のある施設・多様な世代利用・参加交流の場所》



トイレ
・男女、多目的、子ども用の機能を検討
・休憩所を併設

ライン型噴水舗装
・周囲の舗装と同じ高さの舗装板から水が吹き出すタイプ
・水遊びのオフシーズンは舗装広場として利用が可能

出入口②
・拡幅し管理車両や自転車の通行に寄与（水遊びシーズンを考慮）

出入口③
・現況の砂場・パーゴラ・人口芝部は周囲の盤高と同じにして、階段を解消

幼児用複合遊具
・複数の幼児用遊具を平面的に配置
・柵により保護者の目の届く範囲で安全性を確保
・ウレタン系舗装で安全確保を図る

遊具
・遊具ニーズの高い３種（シーソー・ブランコ・複合遊具）を幼児と児童に分けて配置

複合遊具
・大型複合遊具を設置
・登る、滑る、渡るなど、多様な遊び要素の体験

健康遊具
・多目的広場を最大化するため、基本的な健康ニーズに対応した複合健康遊具を検討

遮蔽植栽
・境界ブロック塀を常緑中低木で遮蔽
・ボール当ての予防を兼ねる

出入口①
・拡幅し開放的な空間
・新青梅街道から連続する歩道

舗装広場
・水濡れを考慮し広場全体を舗装
・舗装目地によるパターンにより特色のある空間の演出
・自転車等を乗るための練習や地域交流イベント、手持ち花火等の利用を想定

池（※徒歩池）
・浅い水深の池

丸山
・公園の特色を表す施設として位置づけ
・登る・滑るを基本とした遊び要素
・周囲を柔らかい舗装とし、周辺の園路等と十分な離隔を確保する

高尺フェンス
・利用ルールの検討に応じて、多目的広場を囲うH3.0mのフェンスを設置する

園路
・各ゾーンを結ぶ園路を結ぶ園路を配置（W2.0～3.0m）
・都「安全安心まちづくり条例」に従い、園路照明灯を出入口①から④のルートに配置

出入口④

※本プランは基本設計時点のものです。今後、実施設計を進める中で変更が生じることがあります。

令和７年度 基本設計での流れ

R7.8
オープンハウス
利用者アンケート

R7.9
北原小学校出張授業

R7.9～R8.1
ワークショップ
- 第１回(9/27)
  ・整備方針やゾーニングの検討
- 第２回(11/29)
  ・素案(平面プラン等)の確認
- 第３回(1/31)
  ・再整備プランの確認及び完成

R8.3
基本設計(基本施設の配置設計)


オープンハウスの様子


第１回ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟの様子

これまでの丸山公園
取組み成果の詳細はこちらから

丸山公園再整備プラン　イメージパース



公園全体イメージ



広場イメージ



水遊び場イメージ

※本プランは基本設計時点のものです。今後、実施設計を進める中で変更が生じることがあります。

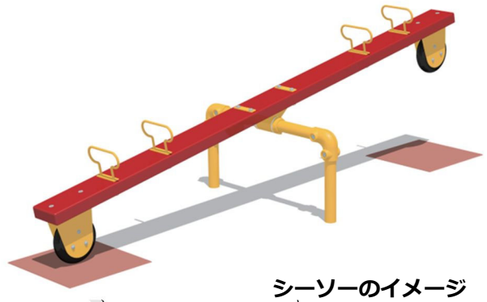
丸山公園再整備　導入予定遊具

② 幼児遊具



幼児遊具のイメージ

③ シーソー



シーソーのイメージ

⑤ 丸山（築山）



イメージ

⑥ ブランコ





ブランコのイメージ

① 児童用複合遊具



複合遊具のイメージ

④ 健康遊具

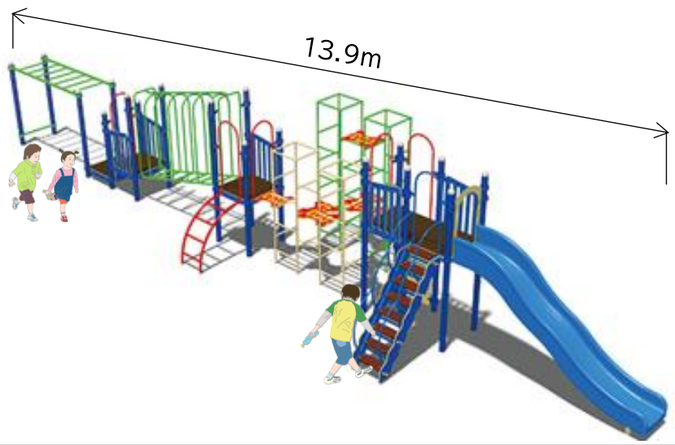
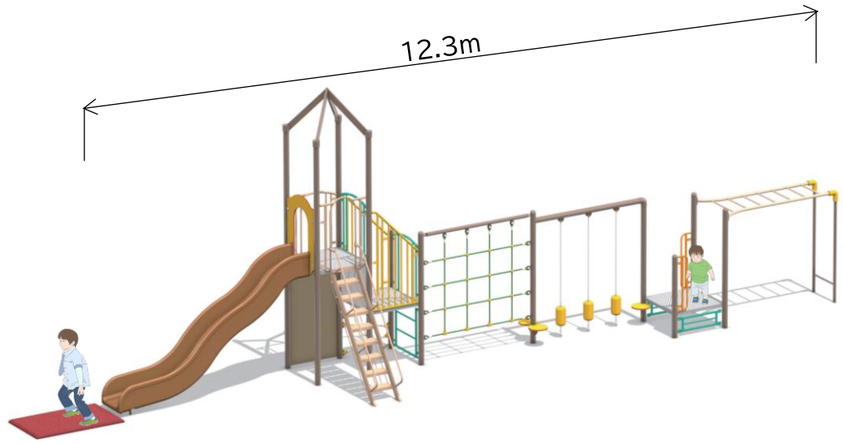
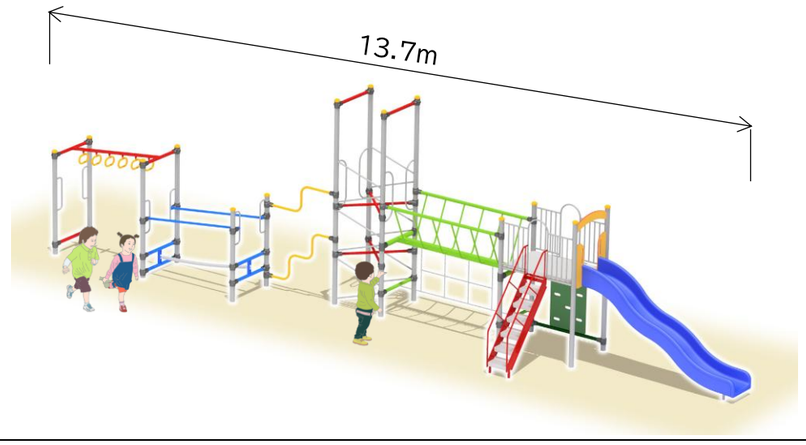


健康遊具のイメージ

0　5

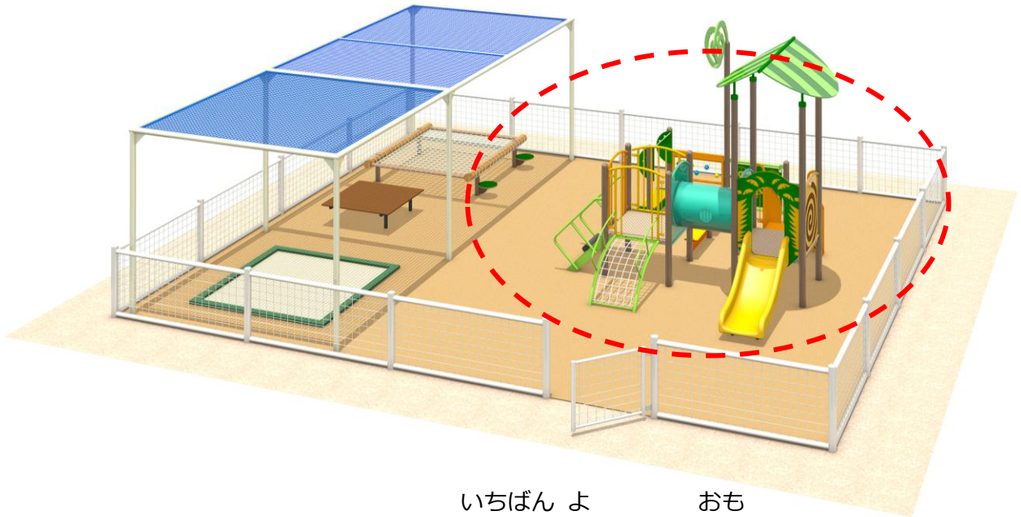
①複合遊具　アンケート

一番良いと思うものにシールを貼ってください

イメージ A	イメージ B
	
イメージ C	イメージ D
	

※図はイメージであり、実際の遊具とは異なる場合がございます

②幼児遊具　アンケート



小さい子が遊ぶことを想定したエリアです。

　左図赤枠内のスペースに配置する遊具についてのアンケートになります。小さい子が遊ぶ際に良いと思うものについて選んでください。

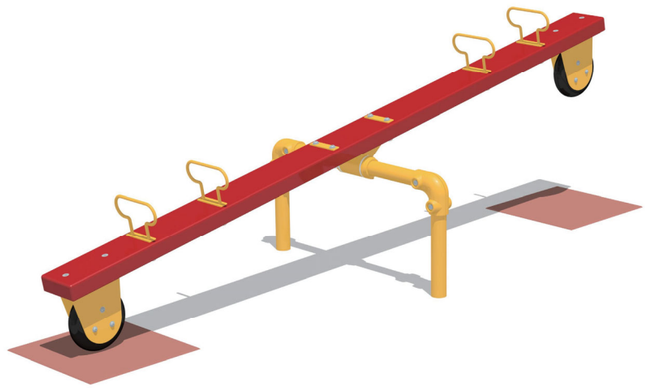
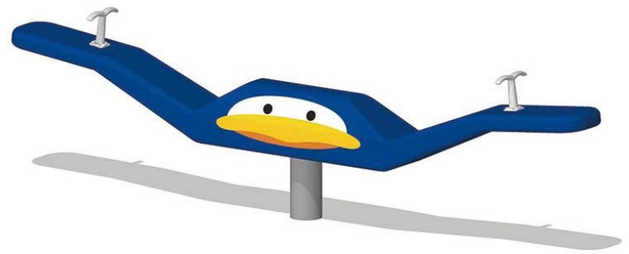
一番良いと思うものにシールを貼ってください

イメージ A	イメージ B	イメージ C
		

※図はイメージであり、実際の遊具とは異なる場合がございます

③シーソー　アンケート

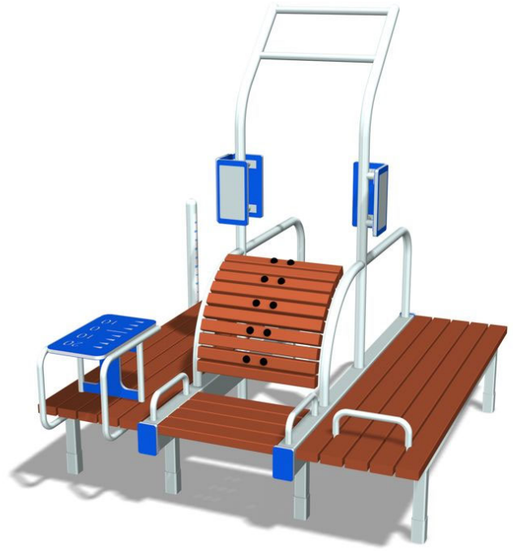
一番良いと思うものにシールを貼ってください

イメージ A	イメージ B	イメージ C
		

※図はイメージであり、実際の遊具とは異なる場合がございます

④健康遊具　アンケート

一番良いと思うものにシールを貼ってください

イメージ A	イメージ B	イメージ C
○ぶら下がり運動　○コマ落とし ○ふみいたストレッチ　○上体のばし	○立位前屈　○ツイスト運動 ○平行棒　○開脚運動 ○肩甲骨周りの運動	○上体そらし　○背伸ばしベンチ ○長座体前屈　○腹筋台 ○平行棒
		

※図はイメージであり、実際の遊具とは異なる場合がございます

⑤築山　アンケート

1．築山の**かたち**

いちばん よ　　おも　　は
一番良いと思うものにシールを貼ってください

A ： 1山		B ： 2山	
			

2．築山の**そざい**

いちばん よ　　おも　　は
一番良いと思うものにシールを貼ってください

A ： 人工芝＋ウレタン	B ： 人工芝	C ： ゴムチップ
		

※図はイメージであり、実際の遊具とは異なる場合がございます

⑥ブランコ

再整備後　ブランコイメージ





同時に複数人で乗れる皿型シート付のぶらんこです。
座位が難しい子も挑戦できます。

※図はイメージであり、実際の遊具とは異なる場合がございます

丸山公園での樹木整理の考え方



丸山公園は、開園から 40 年以上が経過しており、遊具やベンチなどの施設だけでなく、樹木も大きくなり衰退しているものもみられます。

公園の再整備の際には、そうした古くなった樹木の整理（伐採や更新）をして、公園樹木の適正化を図る必要があります。

公園の樹木は、まちのなかの貴重なみどりであり、地域の皆さんにとっても愛着のあるものですので、**健全な樹木は残し、下記に示す樹木は伐採や剪定を行い、必要に応じて新たな植栽を考えます。**

1 利用者の安全性

公園利用者の安全のため、倒木の恐れのある樹木や見通しに支障のある樹木をなくします。

①キノコや腐朽・空洞、傾き等が生じている樹木

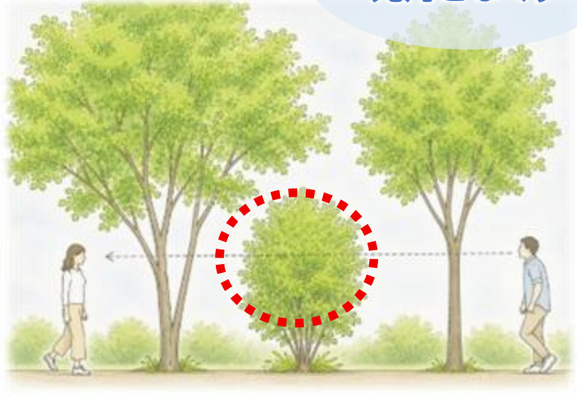
倒木リスクの解消を図る



写真：「令和3年度街路樹診断等マニュアル　東京都建設局」より

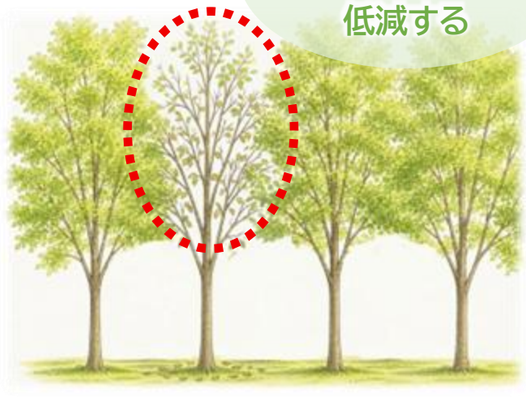
②見通しをさえぎっている樹木

見通しを確保し死角をなくす



③樹木が密で生育空間の不足で衰退している樹木

生育環境を確保し、倒木リスクを低減する

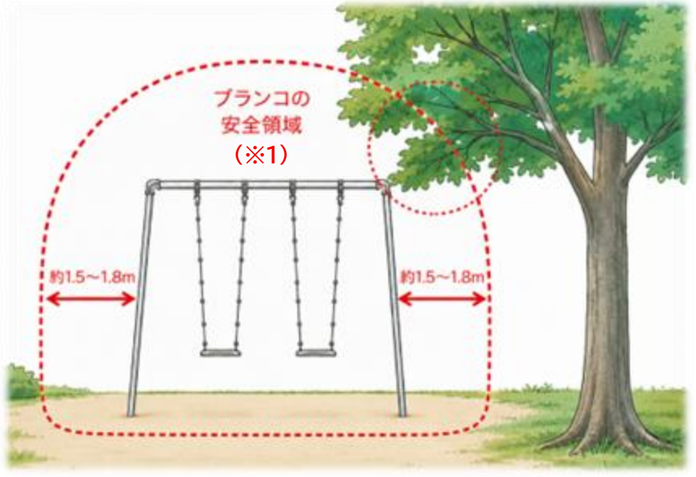


2 計画上支障となる樹木

遊具やベンチ、広場などほかの施設を使う時に干渉する樹木をなくします。

①遊具利用時に接触の恐れのある樹木

公園利用に支障となる樹木をなくし、使い勝手をよくする

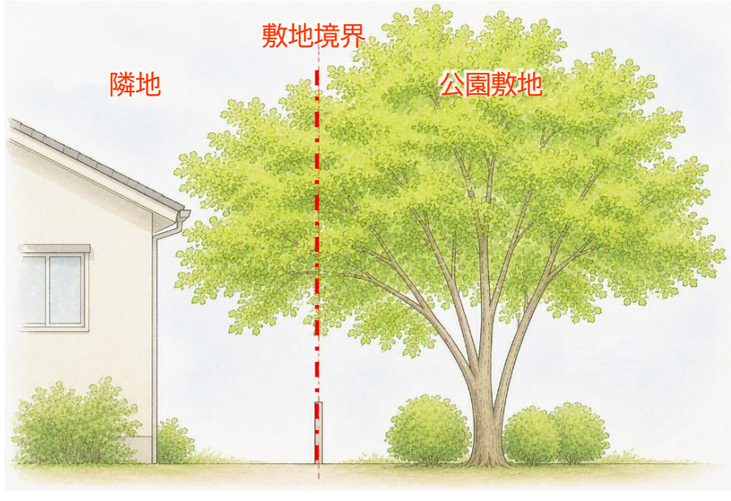


（※1）遊具の安全領域

子どもが遊具から落下したり飛び出したりした場合に到達すると想定される範囲で、安全領域内には、重大事故に結びつく要因となるような障害物や異物、硬い設置面があってはならない。遊具本体から全方向に 1.5～1.8m以上確保される。

②隣地への落葉・落枝や枝の越境がある樹木

境界越境を抑え適切な配置とする





3　樹木の健全性

衰退がみられる樹木をなくし、適切な樹木の生育環境を確保します。

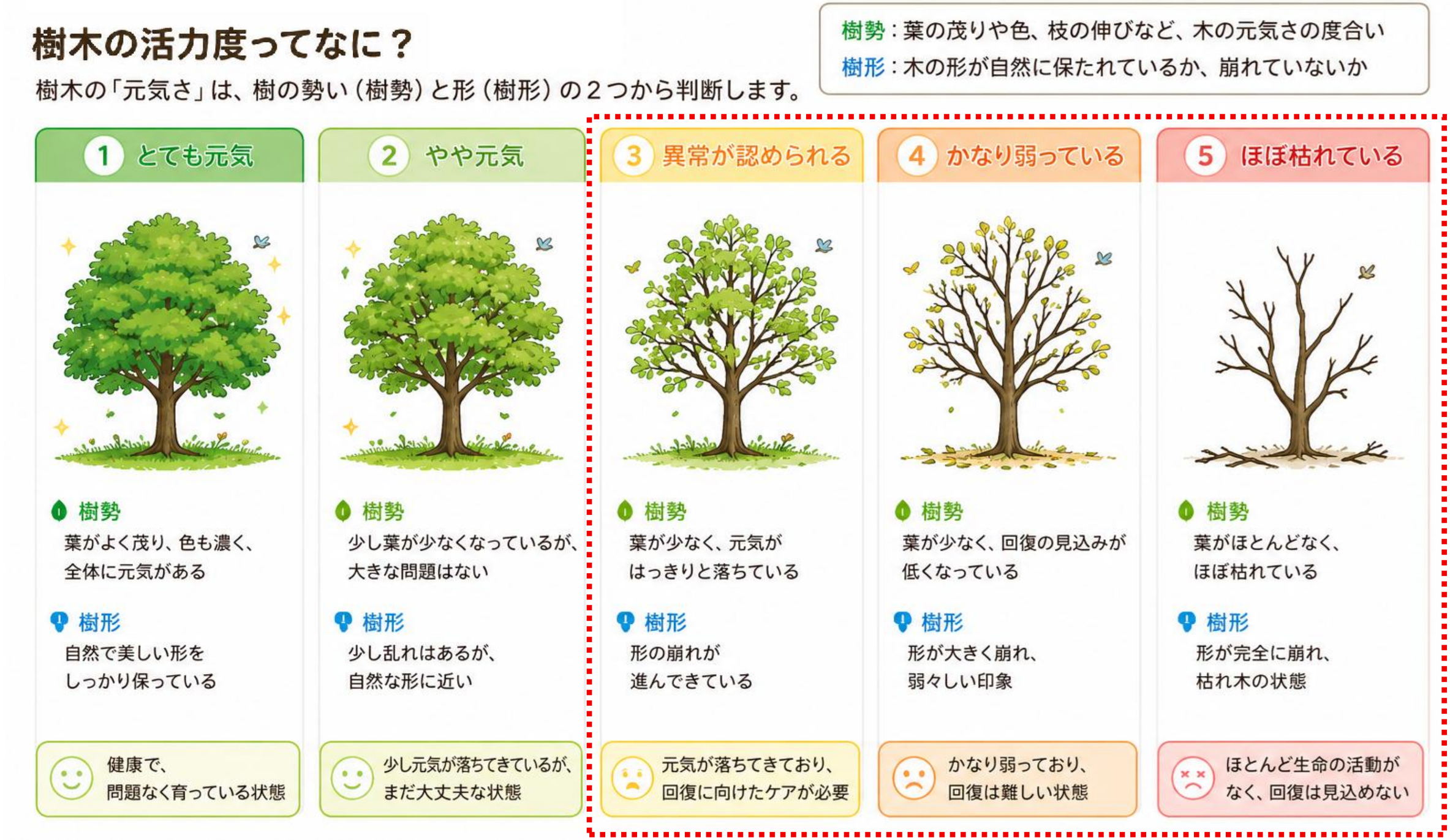


なるほど！
残せる樹木は残して、危ない樹木や元気に育たない樹木をなくして、人にとっても樹にとってもより良い公園にするのか！

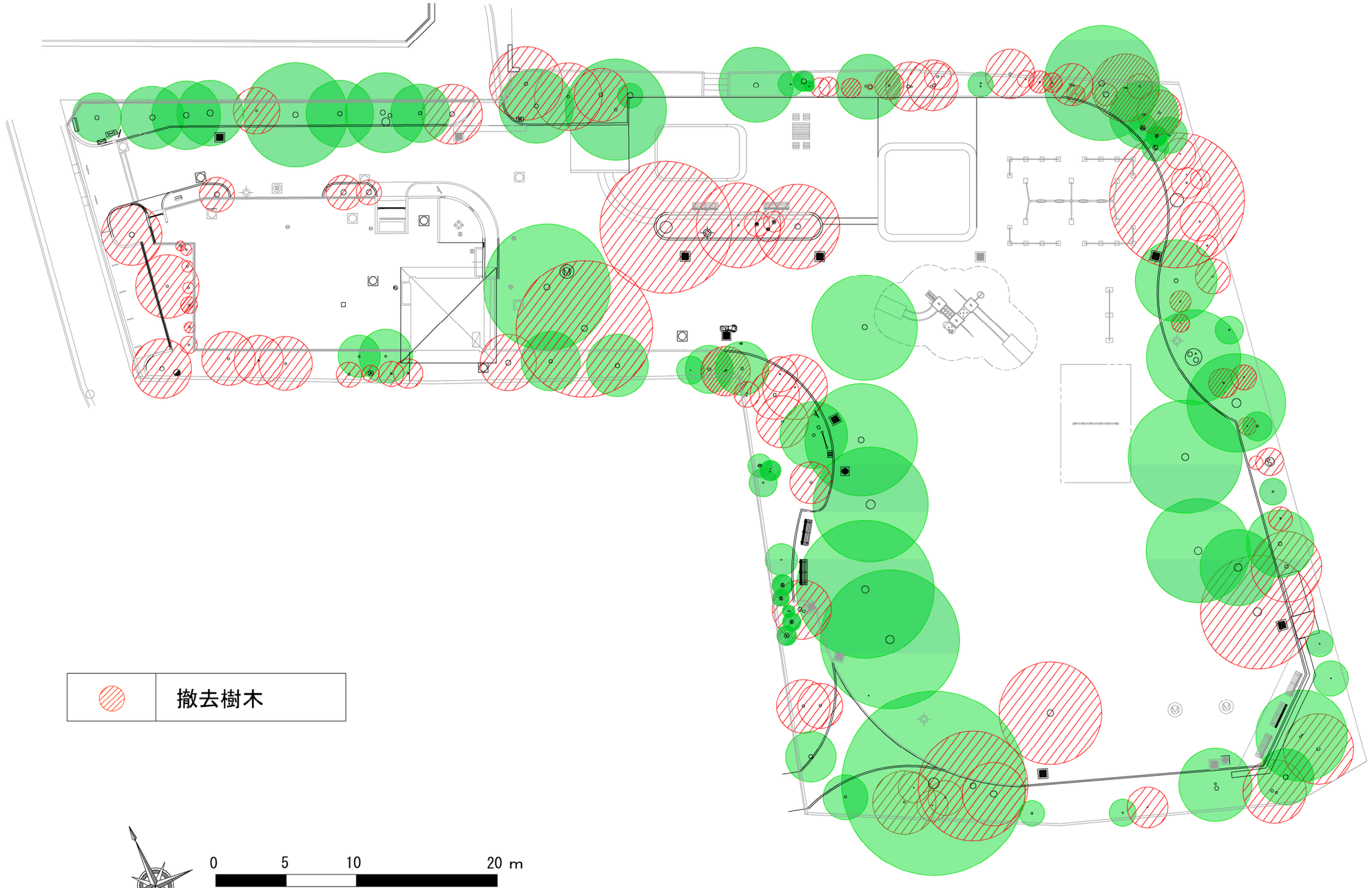
①活力度（樹勢・樹形）が悪い樹木

現況の樹木のうち、元気がない（活力度3～5）樹木をなくします。

樹勢：葉の茂りや色、枝の伸びなど、木の元気さの度合い
樹形：木の形が自然に保たれているか、崩れていないか

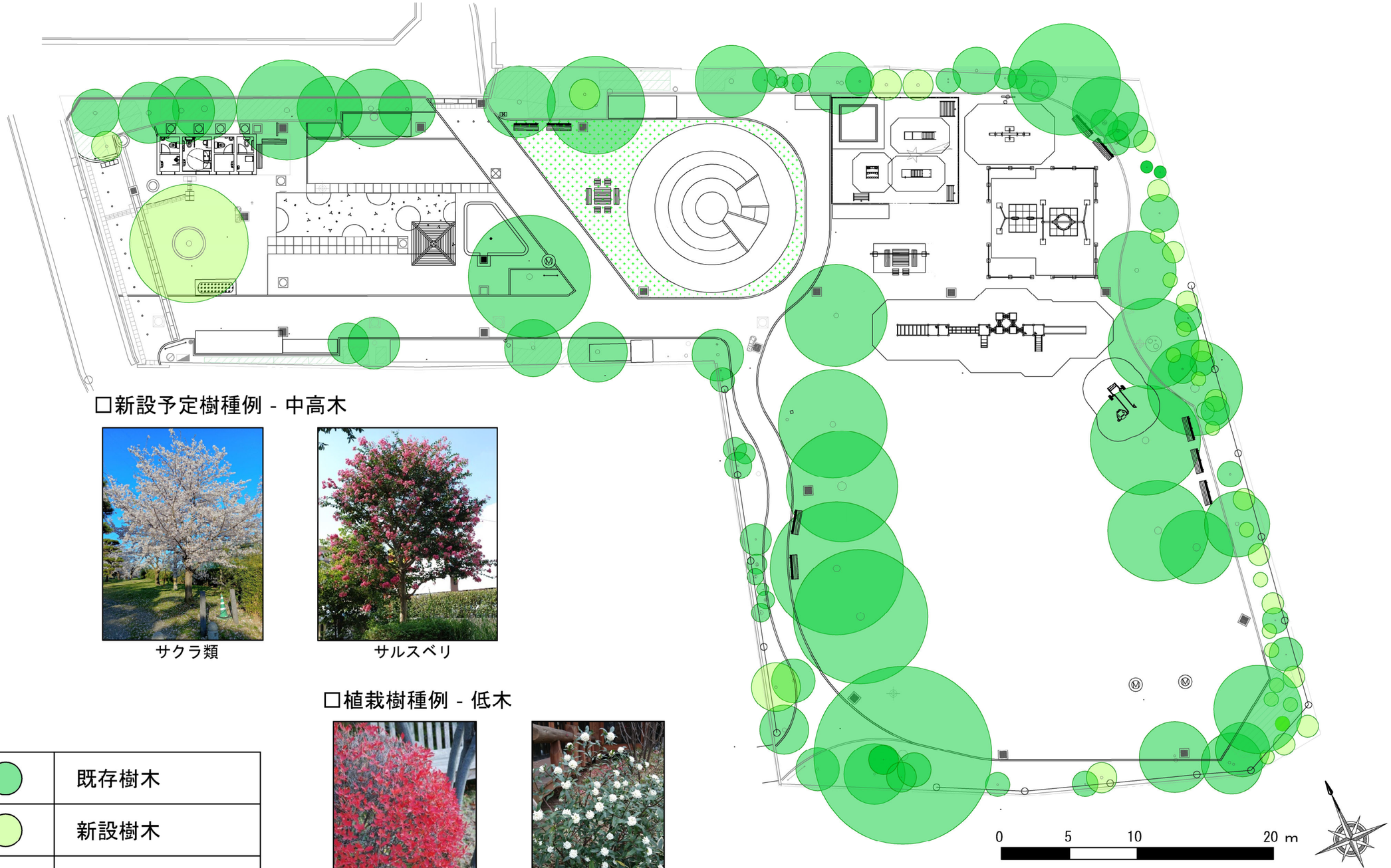


植栽計画−伐採樹木位置図



※対象となる撤去樹木は、今後、実施設計を進める中で変更が生じることがあります。

再整備後の植栽計画



□新設予定樹種例 - 中高木

サクラ類

サルスベリ

□植栽樹種例 - 低木

ドウダンツツジ

ジンチョウゲ

	既存樹木
	新設樹木
	低木

※新設予定樹種及び配置は、今後、実施設計を進める中で変更が生じることがあります。